

ソフトウェア品質保証 責任者の会

第3期 第2回会合次第

2014年11月29日(土) 13:00~17:00
ソフトウェア品質保証責任者の会準備委員会
2014年11月29日改訂

本日の内容

- **13:00～13:10** **オリエンテーション**
 本日の流れ
 日科技連からのお知らせ

- **13:10～14:10** **事例発表＋質疑応答(60分)**
 「標準規格導入によるプロセス改善事例」
 ソフトウェア品質保証責任者の会 準備委員

- **14:10～17:00** **第3期活動テーマ選定**
 - 部長の会 成果報告内容紹介
 - 進め方
 - テーマの洗い出し（前回継続）
 - テーマ分類（と統合）
 - テーマ選択
（ここでチーム分け）
 - チームごとに具体的な活動指針と成果物の設定
 - 上記の発表（各チーム15分）

*** 終了後に懇親会（自由参加）を実施します。**

プロセス改善事例発表

- **テーマ：「標準規格導入によるプロセス改善事例」**
講師：ソフトウェア品質保証責任者の会 準備委員

機能安全規格に対応するためISO9001準拠のソフトウェア開発プロセスの改善を行った。このときに設計およびテスト観点を明示する施策を取り込んだところ、大幅な品質改善が達成できた。このときの取り組み内容とその成果を報告する。

機能安全の解説もあります。



テーマ案

アンケート結果（2014年11月26日 19:00現在）

| テーマ名 | 得票 |
|-----------------------|----|
| 第2期継続（人財育成の深堀） | 7 |
| 第2期継続（人財育成の別観点の活動） | 6 |
| 第2期継続（身の丈プロセスの深堀） | 6 |
| 第2期継続（身の丈プロセスの別観点の活動） | 5 |
| 上記以外 | 3 |

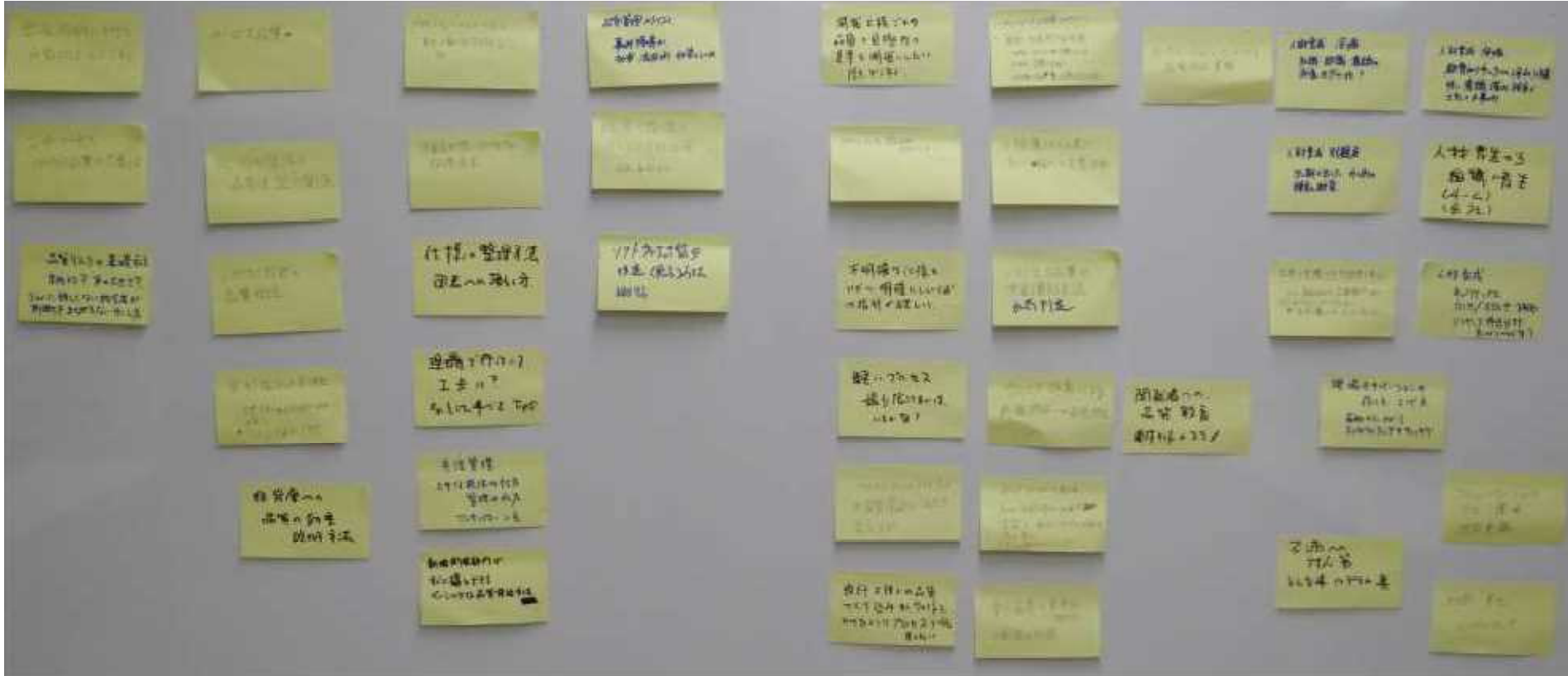
提案テーマ：

- ・ 要求分析の段階からソフトウェア品質を意識した活動
- ・ 小規模,プロセス導入直後のソフトウェア品質保証の肝
- ・ 地に足がついたメトリクスを用いた品質管理手法
「地に足がついた」の視点:
 - 1.現場視点で取得し甲斐のあるメトリクス
 - 2.経営視点で追い甲斐のあるメトリクス(=KMI、KPIに結び付くメトリクス)
- ・ 品質保証部門の価値(在り方、キャリアパス、部門の業務品質)

活動テーマ検討

- **本日の進め方**
 - 活動テーマのブレインストーム（洗い出し）**
 - 活動テーマの分類**
 - 各テーマに対する活動イメージを付箋紙に記載する。
 - とにかく、イメージ、連想するキーワードを記載する。
 - 活動を想像できるレベル。
 - 成果物、ゴールが想像できるレベル。
 - 記載内容を分類する。
 - 活動テーマ化する。
 - 具体化した内容を発表する。

前回の成果



第2期での“今後の課題”

人財育成

7. 今後の取組み

「身の丈にあったプロセス」の構築

- ・ コミュニティ活動として、さらなる論議の継続と深掘り
本当に役に立つことを目指して刺激し合う。
- ・ 中小組織に適切な、簡単な品質保証プロセスの提案：「身の丈に合ったプロセス」
有効性を保ったまま適合できるプロセスの探求

2014/09/12

Software Quality Assurance Officers

24



2014/11/29

Software Quality Assurance Officers

7



まとめと今後の課題

■ まとめ

- ソフトウェア技術者の品質スキルは、知識の積み重ねだけに頼らず、「意識」の強化が重要と実感した
- 「意識」とは、「製品・サービス提供責任」と、その醸成に必要な、意欲・誇り・主体性と自律と我々は考えた
- その意識を強化するには、「①成功体験・感動体験」「②人を巻き込む経験」「③判断を任される」ことが必要と考えた

■ 今後の課題

- 考えた「意識の強化」の成功事例の積み重ね
- 心理学などの学問的な裏付け

2014/09/12

Software Quality Assurance Officers

17



身の丈プロセス

参考：部長の会テーマ案

- **アジャイル開発における品質保証**
- **欧州の品質保証活動との比較**
- **経営視点からのソフトウェア品質保証**
- **サービス品質（サービス部門、または、接客業としての品質保証）**
- **失敗事例集作成**
- **人財育成（品質意識醸成、品質教育プラン）**
- **設計品質向上策**
- **ソフトウェア品質保証の肝（品質保証の勘所の研究）**
- **超上流からの品質保証（要求獲得、要求開発からの品質保証）**
- **品質保証部門の価値（在り方、キャリアパス、部門の業務品質）**
- **ベストプラクティス集作成**

（50音順）

参考：第2期テーマ案

| テーマ案 | 分類1 | 分類2 | 分類3 |
|---|---------------------------|---------------|------------------------|
| 各社の品質保証部門の抱える課題共有や事例紹介をし、その内容を討論する。 | 大方針 | | |
| ソフトウェア品質保証担当者の育成とSQuBOKの活用 技術的側面－品質保証の勉強を1から始める－ | 育成 育成 | 学習 学習 | |
| どのような組織（プロジェクト）では、どのような品質保証・品質管理をすべきか。 | 研究・調査 | プロセス | テーラリング |
| さまざまなプロセスモデルに対するソフトウェア品質保証 | 研究・調査 | プロセス | テーラリング |
| そもそもプロセスはソフトウェア品質に貢献しているのか？ | 研究・調査 | プロセス | |
| ソフトウェア固有の品質保証法とは？ ハードウェアの“ばらつき制御”と異なるアプローチ | 研究・調査 | プロセス | |
| ソフトウェアの最適な品質テストの仕方（仮） | 実務品質部門 とテスト部門 （組織論） | 品質観点テスト 技術 | テストプロセス による品質 保証 |
| デザインレビューの効率的なやり方 フロントローディングの割に手法が確立していない | 実務 | レビュー技術 | |
| 調達品（OTS/受託）に対するソフトウェア品質保証 | 実務 | プロセス | 受入テスト |
| 品質管理部門を持たない中小企業でも明日から出来る品質への取り組み | 実務 | プロセス | テーラリング の一形態 |
| 一個人でも出来る品質を向上させる方法 | 実務 | プロセス | テーラリング の一形態 |
| ソフトウェアのプロジェクト計画とは？ 「組織的な改善の視点」のもの | 研究・調査 | プロジェクト | |
| 火を吹いているプロジェクトの火消事例 | 実務 | | |

例会予定

| 回数 | 候補日(水、金) | 内容 | |
|----|-----------------|----------------|------|
| 1 | 2014年10月31日 | キックオフ | セミナー |
| 2 | 2014年11月29日 | 土曜半日開催：テーマ選定 | 事例紹介 |
| 3 | 2014年12月18日 | 19:30開始 活動計画発表 | 忘年会 |
| 4 | 2015年1月28日or30日 | | 事例紹介 |
| 5 | 2015年2月25日or27日 | | セミナー |
| 6 | 2015年3月25日or27日 | (土曜開催の可能性) | 事例紹介 |
| 7 | 2015年4月22日or24日 | (連休のため前倒し) | セミナー |
| 8 | 2015年5月27日or31日 | | 事例紹介 |
| 9 | 2015年6月24日or26日 | | セミナー |
| 10 | 2015年7月29日or31日 | (土曜開催の可能性) | 事例紹介 |

セミナー：講師によるセミナー

事例紹介：メンバーによる事例紹介

講師または発表メンバーの都合によりスケジュールを変更する場合があります。